

エコニュース さって



第 46 号

平成 24 年 11 月 26 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

今年も皆の力で 9 基の浮島を進水！

報告：八木

体験イベント「浮きウキフェスタ 24」が開催されました

10月28日(日)に「行幸湖浮きウキフェスタ 24」が権現堂1号公園で開催されました。この体験イベントは行幸湖（旧権現堂川）の水質浄化・生態系の再生・景観保全などに役立つ浮島づくりや、カヌーやドラゴンボートで湖の探検、近隣企業や活動団体等のブース展示など、子供達を主役に大人も一緒に楽しめるイベントです。

当日は、朝から曇り空となりイベント開始前には雨が降り出す最悪の状況にも関わらず、親子連れや環境保全に関心のある市民の方が参加してくれました。受付開始時間を早め、来た方から受付を行い9時半には浮島作りを開始しました。最初は何人位の方が参加してくれるか心配しましたが、雨天にも関わらずスタッフを入れ267人の方が参加いただき、予定の9基の浮島を作り、午後1時過ぎには行幸湖に進水をさせる事が出来ました。

(当日の様子はYouTubeで見れます。アドレスは http://youtu.be/_bSE5uA2d_Q?hd=1)

一方イベントとして予定したバンド演奏(5団体)、ゆるキャラパフォーマンスについては雨天の為急遽中止を決めました。また「ちんどんパフォーマンス」も雨の中、幸手商業高校演劇部の皆さんの熱意で公園管理事務所の屋根下の脇で1回公演を行っていただき観ている方の喝采を浴びました。また、イベント開始時から会場16か所の出展ブースを廻りスタンプを集め景品をもらえるスタンプラリーを行い、会場入り口で配布する案内図についてる用紙を片手に、沢山の方がチャレンジしてくれました。並行し恒例となっている人気のカヌーやドラゴンボートの受付にも、たくさんの方が申し込みを行い雨混じりの行幸湖の探検を楽しみました。

今年から湖の環境美化活動の一環として、イベントスタッフと一般参加の希望者によるクリーン作戦をイベント終了時に計画をしましたが、予定時間を早めゴミ袋を受け取り権現堂公園から幸手班は船渡橋まで久喜班は太平橋まで往復し、ゴミ拾いを行い、午後1時にはイベントの終了宣言を行いました。その後イベントスタッフにより会場の後片付けが一斉に行われ、ほぼ午後2時には終了することが出来ました。

8回目となった、さって市民環境ネットの「浮島づくりプロジェクト」は実行委員会の並々ならぬ熱意とコスモ石油さまをはじめとする皆様のご協力のお陰で無事終了する事が出来ました。参加された皆様本当に有難うございました。来年もまた「浮島づくり」を展開する予定ですので、是非皆様のご参加をお願い申し上げます。

イベントの様子を紹介します。



雨の中での受付



南栗橋5丁目テント



幸手商業高校のちんどん



子供達も浮島づくり



完成後の記念写真



ドラゴンボートを楽しむ

〔主催〕 行幸湖浮きウキフェスタ実行委員会（さって市民環境ネット、埼玉県カヌー協会、NPO 法人幸手権現堂桜堤保存会、NPO 権現堂川を守る会、ごか・川の会、クラブ幸手、NPO 法人とよあしはら、南栗橋 5 丁目自治会、キューピー(株)、(株)ヤクルト本社、コスモ石油(株)、ボートピア栗橋、前澤工業(株)、生活協同組合埼玉ユープ、(公財)埼玉県下水道公社 中川支社、久喜市、幸手市、五霞町、埼玉県

〔後援〕 権現堂公園管理事務所

〔協賛〕 コスモ石油エコカード基金

〔協力〕 幸手中央ロータリークラブ、埼玉県障害者授産事業振興センター、社会福祉法人啓和会 久喜けいわ、ゆる玉応援団協力隊いな、幸手商業高校演劇部、バンド演奏: BILLY、BUBBL、SUZU、Jazz Impulse、SuperAlways

腐葉土づくりの会活動報告 報告：澤村

第 89 回 今年も奥マメ及びサツマイモが大収穫でした！



10 月 14 日（日）の第二日曜日の 9 時から、薄曇りの下で落ち葉の収集と仕込み、奥マメとサツマイモとの同時収穫を行いました。今回は、広報さってに、秋の収穫と腐葉土づくり会への新入会の募集案内をしたため、5 人の新人と臨時参加を含めて 41 名と多数参加し開催しました。

マメは、通常、開花後、30 日～35 日と言われているので 8 月末に開花していたので、9 月末に収穫と予定していたのですが、これは早生マメの生長を指していると思われます。結果的には昨年度と、略、同じ時期の 10 月中旬に収穫となりました。奥マメは全体的に背が高く、非常に多くのさやが実ってました（昨年と比べて少し背丈が小さかったようですが）。

冒頭に会長から 28 日（日）の浮きウキフェスタの参加募集案内があった後、事務局から作業の分担と説明があり作業を開始しました。

初めに環境課に収集して頂いた落ち葉と桜泉園内の集めた落ち葉を 30 分間程で仕込み、全員が農園に移動をしました。

先ずサツマイモのつる切りを行い、男性群が中心でシャベルによるサツマイモ掘りと奥マメ抜きを担当し、女性群はイモを集めて大中小に種分けして 50 山程の公平な山づくり、及びマメの根切り、10 本を一束にして 70 束程をつくりました。サツマイモは参加者全員と都合で欠席した人たちに頒布し、またお世話になっている地主、D I C、新井さん、環境課にお礼をしました。マメも参加者全員と欠席者に一束～二束を頒布し、地主、D I C、新井さん、環境課にお礼をしました。奥マメは 1,000 本植えたので、一度の収穫では取りきれず、300 本程残ったので、一寸実り過ぎた感もありましたが、一週間後の 21 日（日）

の午後、事務局を含めて 14 日に参加できなかった人と更に欲しかった 12 人が参集して 10 人に 1〜2 束を頒布しました。

なお、収穫した際に、マメはその日中にもぎ取り塩湯でして数日間に食する場合は冷蔵庫、長期間で食する場合は冷凍庫に保管すると美味しく食べられる、またサツマイモは 2〜3 日日向には干してから食べるとより甘く、腐りにくいと伝えました。

次回は、11 月 18 日（日）9 時から落ち葉収集と仕込み、第 1 回目の切返し、更にタマネギ植えを案内して散会しました。

第 90 回 本格的な落ち葉集め、仕込み、腐葉土の切返しを実施！

今年はタマネギ苗 1,000 本を植えました！

11 月 18 日（日）9 時から、前日の夕方から夜の大雨がうそのように晴天で木枯らしが吹く寒い下でしたがタマネギ苗の楽しみもあって、27 名の会員が参集しました。しかし、残念ながら前日の大雨で畑の一部に水が溜まりクツが潜る状態でタマネギ植えることができませんでした。事務局から参集した会員の皆さんに畑の状況を説明し、後日、有志にタマネギ植えをお願いし、本会の主旨は腐葉土づくりであることを話して確認し、女性群は落ち葉の収集、男性群は環境課に集めて頂いている落ち葉と女性群が集めた落ち葉の仕込みと切返しの 2 グループに分かれて作業しました。今まではどちらかというと環境課に集めて頂いた落ち葉の仕込みが中心でしたが、今回から本格的な落ち葉収集と仕込みを行いました。既に 1 基目は熟成が進んでおり、来年 2 月には熟成腐葉土ができあがる予定です。今回は 2 基目（前回仕込み）の切返しと新たな落ち葉の仕込みを行い、3 基目は新たな落ち葉仕込みを行いました。出席者が 27 名と多かったため 10 時過ぎには腐葉土づくり作業が終了しました。

会長と代表幹事（事務局長）は都合で参加できませんが、天気予報から 21 日（水）にタマネギ苗を植えてくれる有志を募ったら 10 名の方が手を挙げてくれました。一旦散会して有志と会長、事務局とともに畑に行き、畑のぬかった状況を確認し、また事務局からタマネギを植える作業手順を説明しました。

なお、既に地主がトラクターで耕してくれた畑に、前週の日曜日（11 日）に事務局と有志の 6 名で地主がタマネギ苗を植える予定の場所に土壌改良剤としての熟成腐葉土と元肥えの化成肥料を撒いておきました。

11 月 21 日（水）、10 時に有志 11 名が参集して、寒風の中、1,000 本（事務局が新井さんから奥タマネギ 800 本安価で購入、市内商店で赤タマネギ 200 本購入）を植えました。タマネギ苗を植える前にマメトラ（中村（勝）が持参）で先に地表に撒いた熟成腐葉土をかき混ぜるためと雨で少し地表がしまっていて硬くなっていたので耕しました。その後、クワで横に 5 本のタマネギ苗を植えるための畝をつくり、更に表面を均しました。横に 5 個の孔の空いた黒マルチフィルムを張って両側を土で固定をして、孔に沿って棒で適度な穴（タマネギ苗の枝下までが潜る深さ）をあけて植えました。去年は全体的に植え方が浅くて、表面の土が凍てた時に根が浮き上がり枯れたり生長が遅れたり、また風で吹き飛ばされていたために収穫が悪かったのが今年は慎重に作業を行いました。マメトラを持参して耕してくれた中村（勝）さんを含め 11 人の有志の方、寒風の中での大変な作業して頂きお疲れさまでした。また有難うございました。

なお、昨年、落ち葉の放射能汚染について課題提起があり測定した結果、問題にする値ではないことを確認してありましたが、今回、再度、話題になったので再度測定した結果、問題となる値ではないことを確認しました。

次回、12 月 16 日（日）10 時から落ち葉集めと切返しを行う予定です

第32回幸手市健康福祉まつり

報告：小谷

さって市民環境ネットの展示コーナー也大盛況でした！

○日 時：平成24年11月3日（土）午前10時～午後3時

○場 所：ウエルス幸手 / 天 気：晴れ・気 温：7℃～17℃

○参画者数：さって市民環境ネット13人・幸手市環境課 2人

当日はウエルス幸手では、「健康福祉まつり」、アスカル幸手では、「幸手市文化祭」と相對しての会場にて開催されました。天候にも恵まれた中で、社会福祉協議会の方の話によりますと「スタンプラリー付き案内パンフ」もほとんど無くなる程で、昨年よりも多く1200人強の来場者がありました。

我がブースに於いても沢山の方に観て頂き、独自のクイズラリーにも270人の方が参加、幅広い年齢層の方が環境クイズに解答をしてくれました。

【クイズラリー回答者集計】＊

単位：人

	小学 未満	小学	中学	大学	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	不明	合計
男性	4	8	0	1	8	8	7	2	6	15	3	46	270
女性	11	25	7	1	4	16	17	16	39	24	2		

＊各コーナーに展示されている内容を見て質問に解答をして頂きました。

また、それぞれの展示物の各ブース担当者も親切・丁寧な説明を行い、質問等に対しても一生懸命に対応するなどし、来場した沢山の方に環境ネットの活動内容をアピールし、環境保全活動に理解・興味を持っていただくことができました。

当日の様子を紹介します



腐葉土の会の紹介



中川ジオラマの紹介



自然環境・環境講座の紹介



ゴーヤ植栽の紹介



幸手小の児童も来てくれました

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっと、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)、エコクラブW32 (いきがい大学鷺宮学園32期)